

		【分析】三者ともおおむね前向きに学ぶ姿勢があると捉えている。一方で家庭学習に対する取り組み方については児童と教職員・保護者の捉えに差が見える。	
A	前向きに学び続ける力	授業場面	① 子どもは自ら課題を捉え、解決に向けて意欲的に取り組んでいるか 教職員 20% 80% ① お子さんは、意欲的に授業や行事に取り組んでいますか？ 保護者 43% 54% 4% ① 授業の始めでは何を学ぶか理解してから取り組んでいるか 児童 52% 45% 3%
		家庭	② 子どもはやる気をもって課題や家庭学習に取り組んでいるか 教職員 40% 40% 20% ② お子さんは自ら進んで家庭学習に取り組んでいますか？ 保護者 25% 50% 18% 7% ③ 宿題や家庭学習に工夫して取り組んでいるか 児童 62% 31% 3%
			③ 宿題や家庭学習に工夫して取り組んでいるか 児童 62% 31% 3%
	主に行事	主に授業場面	② 子どもは根拠をもとに意見決定し、自分なりの考えを表現することができるか（授業での見通しや個人ワーク） 教職員 10% 90% ④ お子さんは自分の考えや意見を自信をもって伝えていますか？ 保護者 25% 54% 21% ② 予想を立てたり自力解決するときは、理由をつけてノートに考えを書いたり発表したりしているか 児童 55% 41% 3%
		主に行事	⑤ 子どもは自分の思いや練習の成果を自信をもって表現することができるか 教職員 60% 30% 10% ⑤ 自分の考えや練習したことを自信をもって表現することができるか 児童 55% 38% 7%
			⑤ 自分の考えや練習したことを自信をもって表現することができるか 児童 55% 38% 7%
B	失敗をおそれず自分なりの表現をつくりだす力	主に授業場面	② 子どもは根拠をもとに意見決定し、自分なりの考えを表現することができるか（授業での見通しや個人ワーク） 教職員 10% 90% ④ お子さんは自分の考えや意見を自信をもって伝えていますか？ 保護者 25% 54% 21% ② 予想を立てたり自力解決するときは、理由をつけてノートに考えを書いたり発表したりしているか 児童 55% 41% 3%
		主に行事	⑤ 子どもは自分の思いや練習の成果を自信をもって表現することができるか 教職員 60% 30% 10% ⑤ 自分の考えや練習したことを自信をもって表現することができるか 児童 55% 38% 7%
			⑤ 自分の考えや練習したことを自信をもって表現することができるか 児童 55% 38% 7%
	進んであいさつしよりよい人間関係を築く力	他者のよさを認める	⑥ 子どもは互いのよさやがんばりを見つけ、高め合う姿が見られるか 教職員 60% 40% ⑥ お子さんは他人のよさや他の考えを素直に認めることができますか？ 保護者 21% 64% 14% ⑥ 友達のよさやがんばりを認め、よりよいクラスにしようとしているか 児童 59% 34% 7%
		進んであいさつ	⑦ 子どもはいつでも誰とでも心が通う挨拶をすることができるか 教職員 40% 60% ⑦ お子さんは、家族や地域の方に進んで挨拶をすることができますか？ 保護者 43% 54% 4% ⑦ 誰にでも大きな声で自分から挨拶ができていますか 児童 43% 54% 4%
			⑦ 誰にでも大きな声で自分から挨拶ができていますか 児童 43% 54% 4%
D	対話や体験を通して策を見出す力	主に授業場面	③ 子どもは対話を通し、相違点や共通点、解決策を見つけ出すことができるか（集団思考） 教職員 20% 80% ③ 話し合うときは自分の考えと友達の考えの相違を意識したり、よりよい考えがないか話し合うことができるか 児童 31% 59% 10%
			③ 話し合うときは自分の考えと友達の考えの相違を意識したり、よりよい考えがないか話し合うことができるか 児童 31% 59% 10%

前期学校評価のまとめ

E	めあて達成に向けて 粘り強く取り組む姿勢	主に家庭	⑩ 子どもは経験を生かしてよりよい案を考えることができるか	教職員	20%	60%	20%	3.0	【保護者の声】 家族が揃う夜はなるべくリビングで過ごし会話やテレビなどで時間を共有するようにしています。 親はコミュニケーションをとれているつもりですが、子どもはもっととりたいたいと思っているかもしれないので、子どもとの時間を増やす努力が必要かと思ひます。 学校での様子を聞くときは答えやすいよう具体的に聞いています。				
			⑩ お子さんはご家族と学習・生活のことや悩み事についてコミュニケーションをとることができていますか？	保護者	36%	50%	14%	3.2					
			⑩ いろいろな人から話を聞いたり体験したりすることで新たな発見やよいアイデアを考えることができたか	児童	20%	60%	20%	3.7					
【分析】生活習慣・粘り強さ共に子どもと大人の間で認識のずれが見られる。													
E	めあて達成に向けて 粘り強く取り組む姿勢	生活習慣	⑧ 子どもは基本的な生活習慣が身に付いているか	教職員	30%	50%	20%	3.1	【保護者の声】 時間のけじめの部分でいうと「今すべきこと」と「時間配分」のバランスが気になります。 リズムある規則正しい生活を家族で心がけています。				
			⑧ お子さんは規則正しい生活を送っていますか？	保護者	36%	43%	21%	3.1					
			⑧ 規則正しい生活を送る上、自分のことは自分でしているか	児童	62%	31%	3%	3.5					
		粘り強さ	⑪ 子どもはめあてに向かって行事や体力づくりに粘り強く取り組んでいるか	教職員	40%	40%	10%	10%	3.1	【現状と今後に向けて】 「粘り強さ」に対し否定的な回答が教職員20%保護者40%ある。簡単にあきらめないで取り組む力をどのように育てていくかの議論が必要。			
			③ お子さんは物事に粘り強く取り組むことができますか？	保護者	29%	32%	36%	4%	2.9				
			⑪ めあてをクリアできるように粘り強く取り組んだか	児童	69%	24%	3%	3%	3.8				
			【分析】学校の取組については概ね高評価をいただいている。学習内容の理解度の捉えについては課題が見られる。										
			学校に取り組みに対する設問	⑩ 学校は地域の方と連携したり地域のフィールドを生かした教育活動を行っていますか？	保護者	64%	29%	7%	3.6				
				⑪ 学校はお子さんの様子や出来事を積極的に伝えていますか？	保護者	79%	18%	4%	3.8				
				⑫ 学校は感染症対策やいじめ防止など学校生活に関わる危機管理に努めていますか？	保護者	68%	32%	3.7					
⑤ お子さんは、学習した内容をよく理解し身に付いていますか？	保護者	29%		54%	18%	3.1							
【現状と今後に向けて】 前向きに学ぶことはできているが「よく理解できている」との回答が3割に留まる。学校はこれまでの取組を見直し、より「個に応じた指導の在り方を模索していく必要がある。													
学校評価から見える東中小学校の今													
【後期の重点課題】													
A 前向きに学び続ける力→家庭学習へのサポート													
B 失敗をおそれず自分なりの表現を創り出す力→考えを出すことをためらわない！													
E めあて達成に向けて粘り強く取り組む姿勢→粘り強さの向上													
チームで取り組む改善・継続ポイント													
①個に沿った学びの充実【A・B】													
②家庭学習の啓発【A】													
③成功体験をもたせる活動・行事【E】													
④挨拶の励行【C】													
⑤学校の危機管理体制の強化【デザイン外】													

お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。今年度もグランドデザインのA→Eそれぞれの力に対する評価を行っています。単純に数値化できるものではありませんが、傾向をご覧ください。右下に評価をうけて、後期学校が取り組む方向を記載しておりますのでご覧ください。